

エントリーNo 5

- 学習会名称 （ 労働時間を記録するカレンダー作成 実行委員会 ）
○主催者 （ 岐阜青年ユニオン ）
○対象者 （ 誰でも 組合員以外も可 ）
○開催日 （ 年 月 日 時～ 時 ）
○開催場所 （ 主に岐阜県労働組合事務所 ）
○なぜその学習会を企画したか

労働者の労働環境改善のために、何かできないかと考えたとき、労働時間の把握は会社が行わなくては行けないが、それさえ行われていない企業が多く、労働者自身もどれだけの労働時間なのかを把握していないという実態を知り、少なくとも、労働者が把握をして、自身のおかれている状況を見直すきっかけにしたいと思い4年前からカレンダーの作成をしている。また、未払いの賃金を請求する際の証拠にもなれば良いと思い、企画した。

○企画するにあたって、運営で工夫した点は？

実際にカレンダーを使用した人に話を聞いて、一緒に製作をした。
スタッフは、組合員ではない人にも声をかけて、幅広い意見を取り入れられるようにした。
未払いの賃金を請求する際の証拠にもと考えていたので、弁護士のアドバイスももらった。

○苦労した点は？

どれだけ売れるかが、毎年未知数なので、印刷数の決定には毎年悩みながらの決断です。（今年は即完売、去年は2000部売れ残り。ただし、赤字は無し）
作業は、各個人ができることをするのだが、イラストを書いてくれる人に大きな負担がかかる。

Q2.参加者ついて記入してください。

- 参加人数 目標（ とくになし ）人 実際に参加した人数（ 7 ）人
○参加者からの感想は？

やってよかった。こんなに売れるとは思わなかった。
もっといいものをつくりたい。

○どんな総括をしましたか？

労働時間を記録するカレンダーと言いながら、利用者から「毎日つけることができない」「タイムカードがあるから必要ない」など本来の目的を達成できないで悩んでいます。今後の改善が必要だと感じました。

○総括を踏まえて、次に活かそうと思う点など

毎年好評なので、改善を続け、発行していこうと計画している。実際に使用した人の意見を集約する方法や、使用した人と一緒に次のものを作ることができるようにしていきたい。どの県労連も経済的に余裕がないことから、採算がとれるような活動を積み重ね、モデルとしていきたい。

収入 185700 円－カレンダー印刷代 97700 円－イラスト料 10000 円＝利益 78000 円

○その他、学習会を行って気づいたこと

組合の活動としては、モノづくりをとおして学習し、広めるという目標であるが、いいものを作れば、それだけ広まるという実感をしている。学習会や、レクとも違う学習のかたちは、地味に見えるかもしれないが、今後、発展していく可能性があると感じる。